

三宅島の現状（その４５）

平成14年12月25日
現地災害対策本部

【気象及び火山活動の状況】 12月11日～12月25日

この期間、14日～16日まで移動性高気圧に覆われ晴れましたが、全般的には曇りがちの日が多い天気でした。また、寒冷前線通過や南海上の前線上を低気圧が次々と通過したため雨の降りやすい状態が続き、17日には神着で22.0mm、伊豆23.0mm、阿古13.0mm、坪田22.0mmの日降水量を観測しました。

火山の活動状況は、この期間体を感じる地震は観測されませんでした。遠望観測による噴煙の高さは、山頂が雲に覆われ観測できませんでした。火山ガス（SO₂）の放出量調査を18日に警視庁の協力により実施し、約6,000～9,000トン/日を観測しました。

島内のガス濃度（SO₂）は、15日三池消防器具置場3.4ppm、18日村役場で2.9ppmを観測しました（東京都環境局観測）。

【全世帯対象一時帰宅事業】

年月日	H14.12.19
場所	阿古B地区
人数	141名

三宅村で全世帯を対象に10月から実施してきた一時帰宅事業（地区別に合計12回を予定）は、天候状況が悪く延期されていた今回阿古B地区の実施によりひとまず事業終了となりました。なお、この事業で帰宅された住民は1,878名となっています。

【三宅島便（東京～八丈島便の三宅島寄港）の運用】

三宅島便は1月6日（月）から週3便（東京竹芝発 月、水、金曜日）運行します。ただし、東京月曜日出発便は災害復旧作業員等の防災関係者で入島を許可された方のみとし、水曜日・金曜日出発便は三宅村が実施する日帰り帰宅事業参加者用となっております。なお、今回の八丈島寄港便が運行されることに伴い、神津島・三宅島間を運行していたえびね丸は毎日（日曜を除く）1往復のみとなります。

【道路環境調査の実施】

来年度開始予定の島民滞在帰宅に備えるため、警視庁交通規制課警察官3名と都道・村道・林道の管理担当者による道路環境（道路標識、カーブミラー等）調査が実施されました。

【クリーンハウスの増設】

三宅村が現在建設中の島民の方の脱硫宿泊施設を早期に建設のため建設作業員用の滞在施設として阿古にある漁協事務所の2階会議室を借用し脱硫施設化することになりました。12月にその工事が終了し、島内で安全に滞在するための宿泊施設（クリーンハウス）は、計17棟、定員で650名となりました。

【就労情報】

村役場では求人情報を下記のホームページに掲載するとともに、住民情報ネットワーク（島民連絡会）42ヶ所の連絡所にも送付しております。仕事を探している方はもよりの連絡所でご覧下さい。また、就職についての相談は三宅村村民課避難対策係（代表03-5321-1111内線45-651）にご連絡ください。なお、直近の情報はホームページ「三宅島を離れた村民のみなさまへ」をご覧ください。

（アドレス <http://www.miyakemura.com>）（問い合わせ先）三宅支庁総務課行政係 電話：03-5320-7854

三宅島民の皆様へ

☆帰島の見通しは立っていませんが、帰島する時に必要なことを検討している内容をお知らせします。

三宅島噴火災害 帰島計画(第1次案)概要 《三宅島全島民帰島プロセス》

平成14年12月
東京都三宅村

はじめに

現状では、まだ帰島の見通しは立っていません。しかし、災害の長期化により、帰島するまでには数多くの検討課題があります。そこで、村では、村独自の考え方や関係機関等との協議・調整が必要な事項を体系的に整理し、平成14年12月末に「第1次案」をまとめました。

帰島の実現までには、まだ不確定な要素が多々あることなどから、帰島の時期が決まるまで、この帰島計画（案）を引き続き検討・修正していく予定です。

なお、帰島計画の策定にあたっては、平成14年11月に下記の「三宅島全島民帰島プロセス作成検討会」を設置して検討を進めており、今後も引き続き計画の改訂にご協力いただくこととしています。

「三宅島全島民帰島プロセス作成検討会」メンバー（敬称略）

（氏名）	（所属）	（氏名）	（所属）
村上 孝	神着自治会会長	平松 一成	三宅村消防団団長
福澤 信哉	伊豆自治会会長	脇田 実	東海汽船(株)貨物部部长
梅田 孝之	伊ヶ谷自治会会長	昭和 頼満	東京電力(株)東京支店 島嶼業務センター島嶼担当課長
沖山 勝利	阿古自治協議会会長	池上 正美	NTT東日本(株)東京支店 設備部災害対策担当課長
○浅沼 洋	坪田自治会会長	河原 勇	(社)東京都エルピーガス協会会長
浅沼 基	三宅村商工会会長	箕輪 正身	三宅島職工組合組合長
上松 幸男	三宅島観光協会会長	平野 米基	三宅島自動車整備工場会会長
沖山 邦男	三宅島漁業協同組合 代表理事組合長	長谷川一也	三宅島建設業協会会長
林 盛幸	三宅島PTA連合会会長	高松 秀直	東京郵政局特定郵便局長 業務推進連絡会三宅島部会長
山田 照一	三宅村教育委員会委員長	山田 和快	三宅村議会議員
奥山 彦一	JA東京島しょ三宅島支店 事業運営委員長	大石 徹	三宅村議会議員
○中里 誠一	(社)三宅島あじさいの会理事長	◎野村 忠司	三宅村助役
寺本 達	(社)三宅島社会福祉協議会会長		
鎌川 文子	民生委員・児童委員		

(◎：座長 ○：副座長)

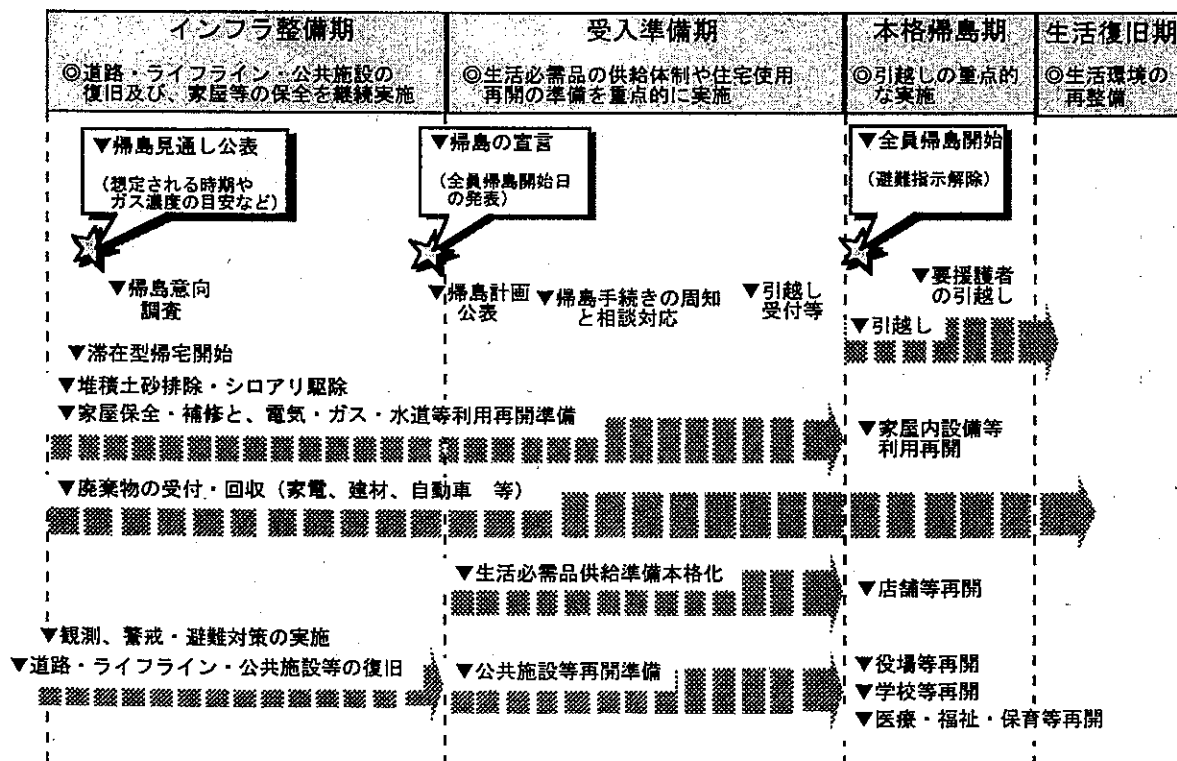
■帰島計画策定にあたっての基本的な姿勢

1. 全島民の安全で円滑な帰島を目指す。
2. 帰島に向けての不安要因への対応、住宅・生活再建支援にきめ細かく対処する。
3. 防災対策および復旧工事や廃棄物等処理における環境への配慮を徹底する。
4. 円滑な帰島に向け、民間団体等に対しても積極的な協力・支援を要請する。
5. 長期避難に伴い帰島には一定の期間が必要であり、即時帰島の難しい世帯に対しても、引き続き、きめ細かく対処する。
6. 島民の雇用機会の確保・あつ旋に努める。

■帰島までの主な手順（想定）

帰島に関する全般的な対応の枠組みは、概ね下図に示すものを想定しています。

帰島の主な手順（想定）



各時期では、主に以下のような対応を図ることとして、検討しています。

- (1) インフラ整備期：公共土木施設やライフライン施設の復旧・整備等を実施する期間。
- (2) 受入準備期：帰島を円滑かつ安全に実施するため、全員帰島開始に先駆けて生活の基本となる諸機能（卸小売り、金融・郵便、運輸・車両整備、家屋修繕工事、民宿・ホテル等）を確保する期間。
- (3) 本格帰島期：全員帰島開始から大半の島民が帰島するのに必要な期間。
- (4) 生活復旧期：帰島後、住居・生活環境等の復旧・整備が集中すると考えられる期間。

帰島は、避難前の全世帯の一斉帰島を前提にしています。なお、要介護高齢者等については、島内の環境がある程度落ちつくのを待って帰島することも想定しています。

■帰島の判断

帰島の判断・決定に際しては、火山噴火予知連絡会の見解や国・東京都の「三宅島火山ガスに関する検討会」の検討結果などに加え、次ページのような各種課題への対応を検討し、安全に安心して生活再建・地域再建に取り組めるようにする必要があります。

村では、国・東京都等との協議を踏まえ、それらを総合的に判断して、帰島時期を「公表・宣言」することを考えています。

■帰島までの取り組み課題

帰島までに取り組みが必要なこととして、次のような項目・内容を検討しています。

項目	内容
1.島民意向等の調査	○島民と商工・観光、農林漁業などの事業主に対して、帰島意向に関するアンケート調査などを行います。
2.基盤施設復旧	○道路やライフラインなどの施設については、遅くとも全員帰島までに生活に支障の出ないよう復旧を行います。
3.公共施設復旧	○全員帰島までに公共施設の災害復旧を行います。新たな施設整備等については、帰島後、復興基本計画に基づいて進めます。
4.防災対策	○火山の監視、防災情報伝達、避難対策などのほか、消火器の整備やガス対策用品の配備などを計画しています。
5.帰宅事業の実施	○これまでの「日帰り帰宅」に加え、4月以降の「滞在型帰宅」の実施を検討しています。
6.家屋の保全・補修等	○シロアリ対策や堆積土砂排除を進めます。 ○家屋の保全・補修が効率的に実施できるよう、引き続き検討します。 ○既存村営住宅の補修・建替及び、新規建設を計画しています。
7.電気・ガス・水道等利用再開	○帰島時にはスムーズに利用再開ができるように準備します。被害の調査や補修については、関連事業者の協力を得ながら実施体制を検討します。
8.生活必需品の供給準備	○卸小売り、金融・郵便、運輸・車両整備、家屋修繕工事、民宿・ホテルなどの再開を進め、帰島時の生活に支障のないようにします。
9.交通・輸送	○バスの運行を再開すると共に、海・空の航路確保への協議を進めます。
10.宿泊機能確保	○帰島後、家屋の再建や補修で一時的に宿泊場所が必要な世帯への措置を検討します。
11.廃棄物等処理	○家電、廃自動車等の災害廃棄物を、環境に配慮しつつ回収・処分します。
12.公的サービスの再開	○帰島時には行政窓口、医療・福祉・保育、学校教育を再開します。 ○帰島開始後しばらくの間、都内に行政窓口を設置します。
13.農林漁業等の再開準備	○帰島後の再建を円滑に進めるための諸準備を行います。 ○農業施設の復旧は帰島後に行うことで、雇用確保にも配慮します。

■帰島に向けた支援措置の検討

帰島に際しての支援措置として、各種相談への対応、帰島後の雇用確保や就労あっ旋に関する措置、引越しに関する措置や必要な都営住宅使用期限の延長、その他各種の負担軽減措置を検討しています。しかし、これらについては村の予算措置、国や東京都など関係機関との協議が必要であり、現時点では明確にお示しできません。今後も引き続き検討・協議を進め、その実現に取り組みます。

問い合わせ先：三宅村復興調整担当課
電話 03-5320-7825 (直通)

三宅島火山ガスに関する検討会の中間報告について（概要）
「東京都災害対策本部の対応等について（第391報）」より抜粋

三宅島火山ガスに関する検討会は、平成14年9月30日からこれまで検討会を3回開催し、主に、噴火直後から現在までの火山ガスの観測データを様々な視点から解析してきました。このたび、二酸化硫黄を中心に、島内の濃度分布や気象との関係について、中間報告としてまとめましたので、お知らせします。

① 概況

三宅島では、一年を通して西寄りの風が吹くことが多いため東部にガスが流下することが多く、この地域では高濃度の二酸化硫黄が観測され、その頻度も高くなっている。

西部では、東部に比べ全体的に低濃度ではあるが、夏季は冬季に比べ濃度が高い傾向が見られる。これは主に風向きが季節により異なるためと考えられる。

② 風向・風速と二酸化硫黄濃度

上空の風の風下側で高濃度となることが多い。風速が7~19m/s程度になると、高濃度のガスが多く観測されるようになる。

③ 噴出口からの距離と二酸化硫黄濃度

山腹は山麓に比べて火口から近いため、高濃度の二酸化硫黄が観測されている。山麓部においても、東部で比較的高濃度の二酸化硫黄が観測されている。その原因の一つとして、噴出口が火口の中でも南南東側に偏っており、東部がこの噴出口からの距離が近いことが考えられる。また、三宅島の複雑な地形が山麓付近の濃度に影響を与えていると考えられる。

④ 降雨時の濃度

降雨時は、二酸化硫黄が高濃度となることは少ない。これは、降雨により二酸化硫黄が吸収されてしまうことによるものと考えられる。

⑤ 高濃度になる時間帯

高濃度の二酸化硫黄が観測されている三宅島空港観測点では、日中に比べ夜間の方が濃度が高くなっている。他の地域では明確な傾向は見えない。

⑥ 短時間に高濃度となる状況

高濃度が観測された時の濃度変化を見ると、徐々に濃度が高くなるのではなく、短時間で急激に高濃度となることがある。

⑦ その他

二酸化硫黄の日平均値については、島の東側では0.04ppmを超える日の割合が40%以上である。比較的低濃度の三宅支庁においても0.04ppmを超える日の割合が7%程度であり、環境基準と比較するとまだ高い値を示している。

また、5分値で見ても、島の東側では高濃度が観測されている。2ppmを超える濃度の出現頻度は減少しているとはいえないが、5ppmを超える濃度の出現頻度は減少している。

（参考）二酸化硫黄の基準値等

○環境基準

1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ1時間値が0.1ppm以下であること。

○ACGIH（米国産業衛生専門家会議）勧告の許容濃度：2ppm

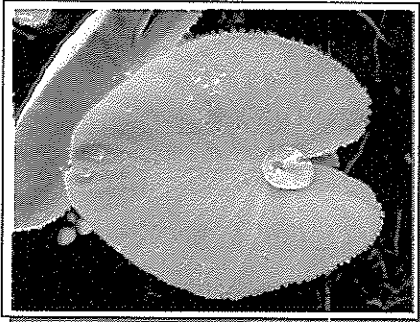
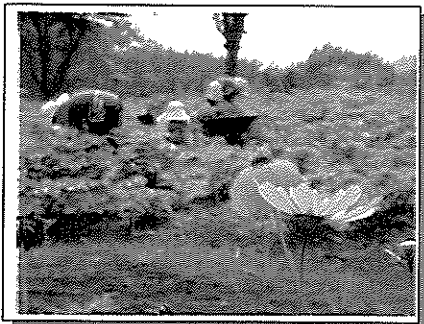
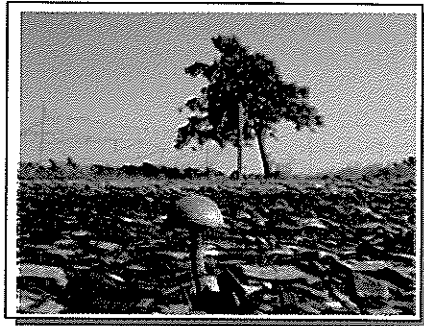
○EPA（米国環境保護局）の短期曝露の指針値（5分値）：0.6ppm「懸念レベル」2.0ppm「危険レベル」

◎最終報告に向けて

今後の検討会では、中間報告で得られた火山ガスの特性に加え、火山ガスと健康に関する国内外の知見を踏まえ、帰島後の健康被害を防ぐための安全確保対策などについて検討を進め、年度末を目標に帰島のための判断材料を示す予定である。

農場点描

絶え間ない車の流れ、そっけないコンクリートの建物、流されそうなほどの人の波…。それらからひととき離れて農場に来ると、不思議と色々なものに目がとまります。



来場者紹介

【見学等】

- ・あじさいの里 水原光夫さん
- ・前田弘明さん(八王子市在住:坪田)
- ・菊池久雄さん(八王子市在住:坪田)
- ・国立南地区自治会長 島村幸夫さん 外2名
- ・菊池暢さん(八王子市在住:坪田)
- ・寺本恒夫さん(八王子市在住:坪田)
- ・山田和快さん(八王子市在住:阿古)
- ・伊藤智文さん(八王子市在住:阿古)
- ・佐久間達巳さん(八王子市在住:阿古) 外2名
- ・伊豆駐在所警察官 田崎良さん
- ・坪田駐在所警察官 秋野勝孝さん
- ・三宅島警察署警備係主任 桜井孝司さん

- ・東京ボランティア・市民活動センター 高山和久さん
- ・民生委員 桜田邑江さん、鎌川文子さん
- 浅沼美佐子さん、竹本光江さん
- 山本登美子さん、日野福江さん
- ・元三宅児童・生徒支援センター 奥住仁志さん
- ・日本大学大学院生 杉山愛さん

【取材等】

- ・三宅島観光協会 木村卓嗣さん
- ・NHK首都圏放送センター 栗葉隆子さん 外3名

(順不同)

「農場へ来るには」

JR八王子駅北口『12番』乗り場、または京王八王子駅『4番』乗り場より、『稻荷坂下』バス停で下車徒歩10分。「ひよどり山中学校」のすぐそばです。

※両乗り場とも「純心女子学園」行きは2系統ありますので、「稻荷坂下」を通るか乗車の際にお尋ねください。

三宅島「げんき農場」だよりのバックナンバーは、三宅村のホームページ「村民の広場」の「げんき農場情報」でもご覧になることが出来ます。こちらでは掲載写真がカラーでご覧いただけますので、インターネットをご利用できる方は是非ご覧下さい。

「村民の広場」アドレス http://www.miyakejima.gr.jp/info_miyake/

三宅島「げんき農場」だよ

発行元 三宅島「げんき農場」
所在地 八王子市宇津木町236-1
Tel&Fax : 0426 - 27 - 4355
e-mail : genki-farm@nifty.com

あけましておめでとうございます

昨年も様々な出来事がありました。



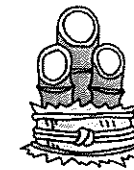
げんき農場の初めての冬。
思い掛けない雪に、慌てて畑を引き上げたことも…。



春、天皇后両陛下が行幸・啓に。
ただただ緊張と喜びの一日でした。



収穫と出荷に追われた秋。
山積みの収穫物は次々とイベントに出荷されました。



スイカに舌鼓を打った夏。
暑い中での作業が報われる一瞬です。

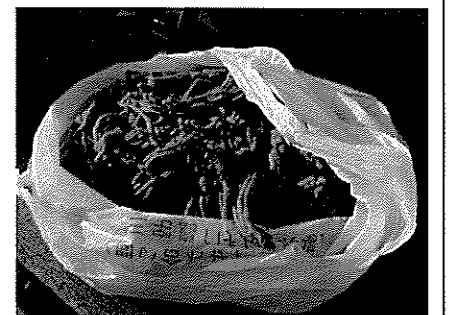
— 帰島の願いが叶うことを祈りつつ、また新たな年が始まります。 —

サツマ煮切り干し配布のご報告

前号で提供のご案内をさせて頂いたところ、昨年12月18日までに24件の申し込みを頂きました。これら24件の餅つき会の参加見込み人数を合わせると、地元の方を含め 2,000人を超えます。予想以上の反響に驚いています。しかし、お申し込みが生産量を上回ったため、ご提供量を調整させて頂きました。全ての方のご希望にお応えすることができず残念に思っています。

この冬煮切り干しにしたサツマイモは、出荷に使えなかったもの約700kgで、それらから合計90臼分の煮切り干しを作ることが出来ました。今月中の発送分をもって出荷完了となる予定です。

次は三宅島で味わえることを祈っています。



【サツマ餅】
三宅島の各地区、各家庭によって異なりますが、標準的なサツマ餅の材料と量をご紹介します。

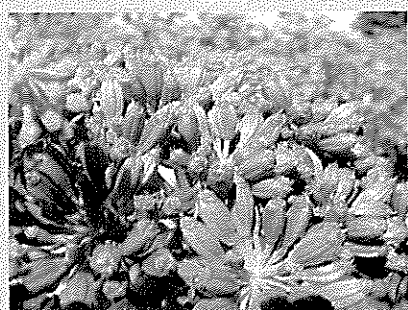
- 1.サツマ煮切り干し 1.5kg
- 2.もち米 1.0kg
- 3.砂糖 300g
- 4.塩 少々

アシタバの種子が穫れました

平成13年5月、「げんき農場」開設と同時に播種したアシタバが、翌年の秋(平成14年11月)、立派な種子を付け収穫されました。

三宅島では2~3年で開花するアシタバですが、ここ八王子ではたったの1年で花を咲かせました。厳しい寒さのため、早く子孫を残そうと頑張ったためだと想像しています。とにもかくにも、八王子の丘で「アシタバ二世」の誕生です。

もしかすると、寒さに強いアシタバができるかもしれません。結果が楽しみです。今後も折に触れご紹介していこうと思います。



[10月上旬の種子]



[乾燥中の姿]



[種子の採取作業]

三宅島 巡り歌

新年号と言うことで、いつもとは趣向を変えて三宅島の古い話題をご紹介します。

三宅島には、周囲を一周する道路に沿って5つの集落があり、それぞれの地形や経済活動、住民の気質等を総合して表現する次のような島巡り歌が残されています。

- ・神着殿原 (かみつきとのぼら)
- ・伊豆女郎 (いずじょう)
- ・伊ヶ谷は陣屋で賢どころ (いがやはじんやでかしどころ)
- ・阿古は閑古でなきどころ (あこはかんこでなきどころ)
- ・坪田は平らで馬どころ (つばたはたいらでうまどころ)

[原文：笹本亀治]

意味をひとつひとつたどってみましょう。神着の男衆は美形の骨格で、品位がありました。あるいは古く壬生家が中心となり島役所行政がこの地にあったため、地位の敬称で「殿原」と呼称されたようです。

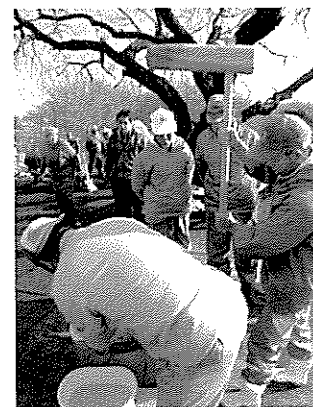
伊豆の女性は美人が多く、華やかさがありました。小金井小次郎(流人)在島中、芝居が地域の娯楽として盛んに開かれましたが、これも女性の美しさと関係がないとも言えません。

幕府指定の伊ヶ谷大船戸湾、船の入出港、流人の管理等、島役所(陣屋)があり、当然のこととして権力が集中し金も多く集まりました。

阿古は噴火災害が多く、農地も少ない地域でした。海岸線も岩場が荒く、陸海とも産物が少なかったのです。「阿古は頑固でクソどころ」と読む話もありますが、これは少々荒っぽい呼称です。

坪田は平地が広く分布し、くぼ地も多く、海岸線は砂浜、岩場も平滑季節風の西風も穏やかでした。また住民も農耕民族説があった等、馬を使い農耕をしたために呼ばれたのではと想像します。

場員のページ

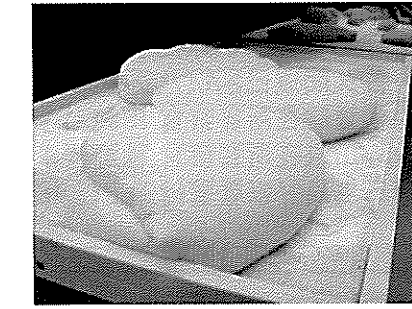


～ 昨年12月10日、餅つき会をしました ～

昨年、関東地方が雪で覆われた翌日、げんき農場では1年の収穫を祝うささやかな餅つき会を開きました。

当日は場員80人以上が参加し、餅つきに豚汁作りに賑やかな一日となりました。避難後、久しぶりに食べる「サツマ餅」はやはり懐かしい島の味でした。

この日の様子はNHKの「三宅島情報」でも取り上げられましたが、年齢を忘れ、男女の区別なく杵(きね)の順番を待つ笑顔が印象的でした。まさに「げんき農場」の餅つき会になりました。





新年のごあいさつ



漁業復興に向けて、出港！！

組合員のみなさん、あけましておめでとうございます。
無事ここに、お正月を迎えるに当たり組合員のみなさん並びに数々のご支援を賜っているみなさんに感謝申し上げます。

昨年は、台風21号の襲来により坪田漁港を中心に大切な漁船が被害を受けました。現在、関係機関と対応を検討中です。4月までに保険を含めて方針を決定したいと考えておりますので、被災された組合員のみなさんには、今しばらくの辛抱をお願いします。

11月には組合の再生を目指した三宅島漁業協同組合経営復興計画を策定しました。計画に掲げる目標達成に向け、理事自らが率先して計画を実践していきますので、組合員のみなさんの協力をお願いします。



さて今年は、東京都の全ての漁協の信用事業が東京都信用漁業協同組合連合会（信漁連）に統合され、貯金残高約85億円の漁業金融機関が誕生します。



三宅島漁協は、1月末日をもって事業統合し、信漁連の取次店として業務を行います。組合員のみなさんには、今まで以上の安心とサービスを提供できるよう努力して参ります。

9月には、漁業権が更新される予定です。現在、東京都の漁場計画が島部海区漁業調整委員会に諮問されております。2月に公聴会が開催され、その後答申を経て、5月に東京都の漁場計画が策定されます。組合では、漁業権行使規則について、組合員のみなさんの同意をいただきに参ります。組合経営復興計画にあるイセエビ、トコブシ、トサカノリ、テングサ等第1種共同漁業権魚種の行使を全島一本化し、漁業生産の増大に取り組みますので、組合員のみなさんの協力をお願いします。

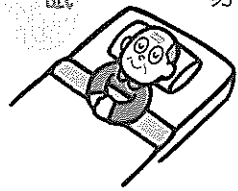
全島民避難中ではありますが、組合そして、組合員のみなさんの漁業活動の復興に向け、着実に準備しております。避難生活を乗り越え、来るべき帰島の日のために希望をもってがんばりましょう。

平成15年1月1日

三宅島漁業協同組合長 沖山邦男

高齢者に関する知識(高齢者まめ知識シリーズその4)

今回は心身の健康に大切な睡眠について考えてみましょう。



☆歳をとるほど少なくて睡眠時間

年代別に睡眠時間を調べてみると、赤ちゃんの頃は1日16時間位眠ります。成長するに従いだんだん少なくなり、高校生の頃は約8時間、40歳前後では7時間となり、50歳以後は1日の睡眠時間は6時間位になります。

睡眠時間は長ければ良いというものではありません。また、夏は短く冬は長くなります。肉体労働をした後など体の疲れ具合でも、必要な睡眠時間は変わります。

☆よく眠れない...

不眠に悩む人は大変に多く、日本人の5人に1人は睡眠に関して何らかの問題を抱えているといわれています。

不眠には、寝付きが悪い・夜中に何度も目が覚める・朝早く目が覚めてしまう・熟睡(ぐっすり眠れた)感がないなどいろいろなタイプがあります。

自分では眠れないと思っても、実際は寝ているケースが多いそうです。本当に睡眠が不

足していれば昼間おきてもいられなくなり、昼間起きていられるようであれば、それは深刻な睡眠不足ではありません。あまり神経質にならず、安眠できるような生活習慣を心掛けましょう。

☆快適な睡眠のために

必要な睡眠時間は人それぞれ。昼間起きていられるようであれば神経質にならなくて大丈夫です。就寝時間にこだわらず、眠たくなったら床につきましょう。

・前の晩何時に寝たとしても、起きる時間は一定にしましょう。

・目が醒めたら日光にあたる。夜は明るすぎない照明を(人は起床して太陽の光を浴びると、体内時計が作動してそれから15〜16時間後に眠くなるようにできているそうです)。

・規則正しい3度の食事と、適度な運動をしましょう。

・昼寝をするなら、午後3時くらいまでの間に

足していければ昼間おきてもいられなくなり、昼間起きていられるようであれば、それは深刻な睡眠不足ではありません。あまり神経質にならず、安眠できるような生活習慣を心掛けましょう。

平成14年度 医師・歯科医師・薬剤師・保健師・助産師・看護師・准看護師・歯科衛生士・歯科技工士及び調理師の届出について

〜厚生労働省・東京都からのお知らせです〜

この届出は、医療従事者の分布及び就業の実態を把握し医療行政の基礎資料を得ることを目的として、医師法・調理師法等の規定により隔年の12月31日現在で行うこととされています。

本年はこの届出の実施年に当たりますので該当の方は次により届出を行って下さい。

- 医師・歯科医師・薬剤師(全ての方) = 住所又は就業地を管轄する保健所へ
- 保健師・助産師・看護師・准看護師・歯科衛生士・歯科技工士・調理師(勤務に従事している方) = 就業地を管轄する保健所へ
- 届出期日=平成15年1月15日まで。なお届出用紙は保健所にあります。
- 問合せ先 島しょ保健所三宅出張所まで 電話 (03-5320-4558)

インフルエンザが流行する時期です。予防のために、●人込みの中はできるだけ避ける ●外出から帰ったら必ずうがいと手洗を ●パランスの良い食事をとる ●部屋を温め、湿度を高くして換気を十分にしましょう。

保健所だよ

東京都島しょ保健所三宅出張所 〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 TEL.03(5320)4557 都庁第1本庁舎41F FAX.03(5388)1600

新年あけましておめでとございます。本年が幸多い年になるよう皆様のご健康を祈念しております。

三宅島の雄山噴火災害により三宅村島民の皆様は全島避難をして3回目の正月を迎えることとなりました。

三宅村島民の皆様は避難生活が長期化し、なにかと不便な生活を強いられるかと思われています。現在、火山ガスの噴出量は減少しているも未だ環境基準濃度を超えている状態です。島しょ保健所三宅出張所も三宅島を離れ、都庁第一庁舎南41階で三宅支庁と三宅村役場と同じフロアーに臨時事務所を開設し業務を行っております。御蔵島の皆様には遠く離れて何かと不便をおかけしています。

三宅村のみならずには帰島できる日を心待ちにし、慣れない地域で(不自由な生活をおくられ、心身ともに疲れることと推察いたします。三宅出張所では「三宅島民ふれあい集会」「八王子市の「げんき農場」江東区の「ゆめ農園」等に保健師を

派遣し健康相談等を実施しておりますので、気兼ねなく相談してください。

また、お住まいの地域の保健所や保健センターでも相談等を受けておりますので気軽に相談してください。

三宅島では、復興作業が急ピッチで進み現地クリーンルームも580人収容できるまでになり、本年度中には島民の方が短期間滞在するためのクリーンルームが完成する予定です。三宅出張所でも食中毒防止・作業員等の生活環境の改善等を目的に三宅島での給食施設等の監視指導及び現地宿舎施設の環境測定等を行っております。また、島に残された動物の調査も実施しています。これから

も変わらぬ三宅村等関係機関と連携し島外避難されている島民の方々の健康相談等や三宅島現地でのクリーンルームの生活衛生監視指導、給食施設等の食品衛生監視指導に取り組んでまいります。

東京都は、当初の計画を前倒しし

平成14年に「東京都保健医療計画」を改定します。この改定の中で保健医療行政の変革として「医療提供体制の変革(効率的で質の高い医療の提供が可能となるよう)」「健康管理体制の変革(健康を維持し、心豊かな充実した生活が可能となるよう)」「サービスマニエールの変革(主体的な選択が可能となるよう)」「の三つの変革を掲げています。その中で「へき地医療体制の充実」として島しょ地域における医療の充実を図るため、医師確保や医療施設・設備の診療基盤整備を支援することとし、島しょ地域の医療機関で対応できない救急患者等の搬送や受入体制を確保することも記されています。

島しょ保健所では管内2町7村と協力しながら、21世紀の保健医療のランドデザインを構築していきたいと思っております。皆様よろしくお願いたします。

最後に、三宅島島民のみならずの一日も早い帰島と、三宅村、御蔵島村の皆様のご健康を祈念いたしまして、年頭の「あけましておめでとう」させていただきます。

島しょ保健所長 丸山 浩一

平成15年 新年号 No.270

登録(14)1号



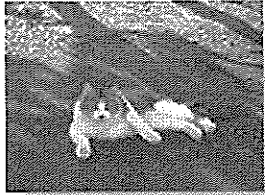
古紙配合率100%

三宅島のペット達は今...

保健所では全島民避難時には約250頭のイヌやネコなどを預かり、動物保護相談センターや都内の動物病院等に収容しました。全島民避難後も3ヶ月に一度、渡島してペットの調査をしています。平成13年3月には、三宅島噴火災害動物救援センターを開設し、ペットを収容していましたが、避難生活が長期化したことからペットの負担を考慮し飼主に引き取ってもらうか、新しい飼主を譲渡することになりました。

ネコについては、はじめの内は災対の方たちをお願いして漁港やヘリポート・作業現場などで給餌していましたが棲息数は徐々に減っていました。しかし、去年の島内常駐体制が整ったから、作業員宿舎などのクリーンハウス周辺に集まって皆さんにかわいがられています。

現在のところ仔ネコを含め約50頭が確認されています。イヌは2頭保護収容し飼主の手にもっています。



三宅島のネコ



ネコの調査

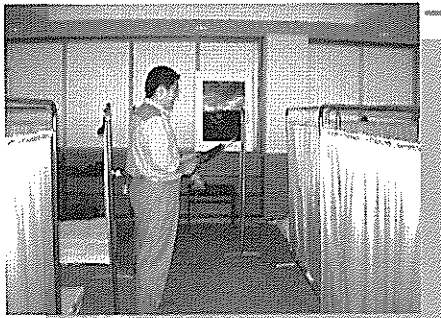
現在の三宅島の生活環境状況

現在、三宅島への帰島を拒んでいる火山ガスは、島内10地点で連続自動測定されています。

日時や場所によって変動は大きいのですが、14年10月の1ヶ月間の測定では、1時間値の最高は3.52ppm（二酸化硫黄の環境基準：1時間値0.1ppm）でした。【環境局測定・災害対策本部発表】

そのため、島内で宿泊するには必ずクリーンハウス（火山ガスを除去する装置のついた建物）で泊まることになっています。

現在クリーンハウスは15棟に増え、島内には作業員等が580人程度常駐しています。



クリーンハウスの空気環境測定

去る14年6月にクリーンハウスの生活環境調査として、室内の空気環境と飲み水の簡易検査、ダニアレルゲンの調査などを行いました。個々の部屋では清掃が不十分な場所も見受けられましたが、空気環境・飲み水とも問題はありませんでした。

避難生活が長引く中、保健所では、三宅島現地での業務や、避難されている方での具合が悪い方への家庭訪問等を行ってまいりました。

三宅島は今!
保健所はこのような活動をしています。

三宅島の食品衛生事情

現在、三宅島では、島内に滞在する都及び村の職員や工事作業員など約600名の食生活を支えるため、調理施設が5施設、食品販売店が2施設稼働しています。

火山性ガスの濃度はだいぶ低くなりましたが、風向きによってはガスマスクを着けて調理作業を行ったり、荒海で船が着岸しない場合にも、食品を安定して供給しなければなりません。このような状況の中でも、関係者の尽力もあり、食品衛生上の事故は発生していません。

保健所では、食中毒予防対策を通じて三宅島の復興に向け支援していきます。

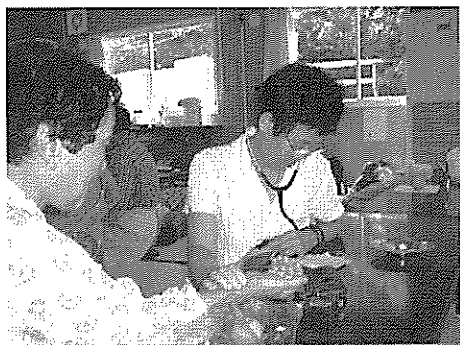


クリーンハウス前の食堂棟

避難生活者への保健指導

三宅村の65歳以上の高齢者の割合は32%（14年6月現在）で、都内平均より高くなっています。また、不安な生活が続く中でストレスも多く、避難住民の心身面のフォローについては、島しょ保健所三宅出張所の保健師の業務となっています。

このため、定期的に家庭訪問や「げんき農場」「ゆめ農園」での健康相談等を行っており、昨年8月の実績は、家庭訪問11件、面接・電話相談11件、関係機関との打ち合わせ等13件、げんき農場やゆめ農園での健康相談3回、延49名となっています。最近の相談例では、「高齢のうつ状態が強かった女性に、島民の多く住む地域に転居することをアドバイスして、近隣との交流が増え、それがきっかけとなり好転した。」「父親の痴呆行動への対応をどうしたらよいか」「げんき農場で気軽に保健相談ができる上、野菜の収穫などで心が癒され、避難生活にハリが出る。」等の相談が寄せられています。



ゆめ農園での健康相談風景



ふれあいまつりにて